



Market View 5月号

株式市場

日経平均株価：下値を切り上げる展開



- 現状の為替水準や世界景気の緩やかな拡大を前提とすると、増益基調が維持される可能性は十分あり、業績への確信度が高まるに連れ下値を切り上げる展開を見込む。

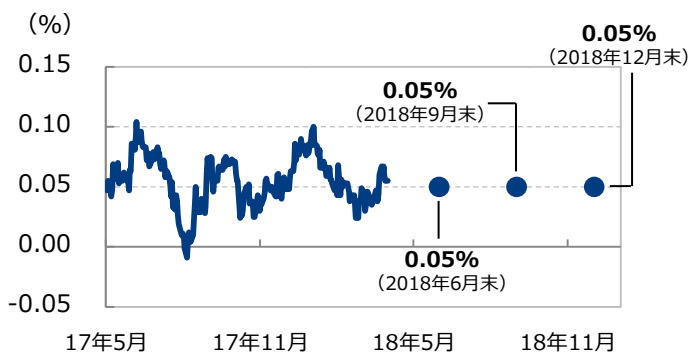
NYダウ：横ばい圏で推移



- 横ばい圏で推移するとの見方だが、バリュエーションの割高感や市場の過熱感は薄らいできており、景気や企業業績の予想以上の拡大が続けば株価が上振れる可能性も。

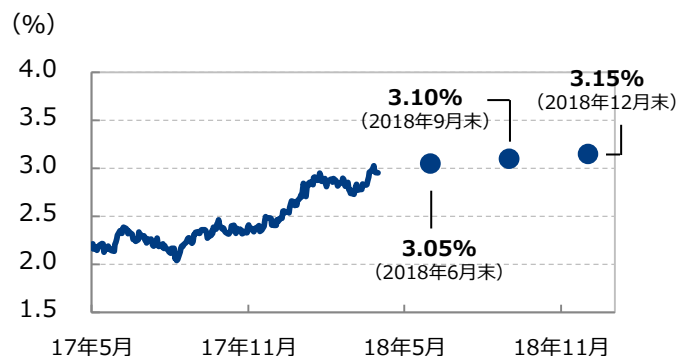
債券市場

日本10年国債：横ばい圏での推移



- 海外発の金利上昇の可能性は残るものの、日銀の慎重なオペ運営により、需給が引き締めやすい状況は継続する見込み。長期金利は引き続き横ばい圏での推移を予想。

米国10年国債：緩やかに上昇



- 堅調な実体経済、目標水準まで上昇したインフレ率、FRBの利上げ継続方針から、緩やかな上昇圧力が残ると予想。ただし、米中貿易摩擦や中東情勢が不透明要因。

(1/2)

※2017年5月31日から2018年4月30日までのデータは実績値。2018年6月末、9月末、12月末の値は当社予想。
 ※2018年4月30日は日本市場が振替休日により休場のため、日経平均株価のみ2018年4月27日まで実績値。
 各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

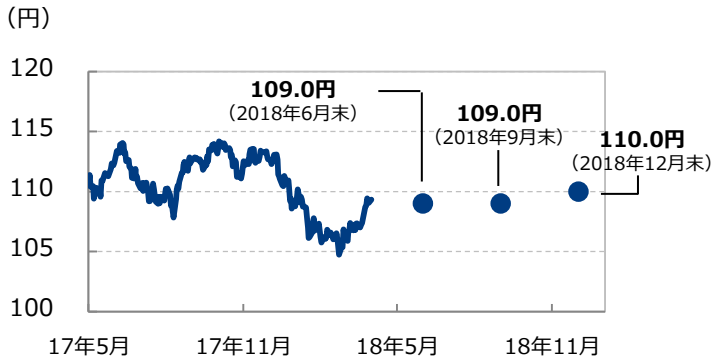
Daikoku SB Investments



Market View 5月号

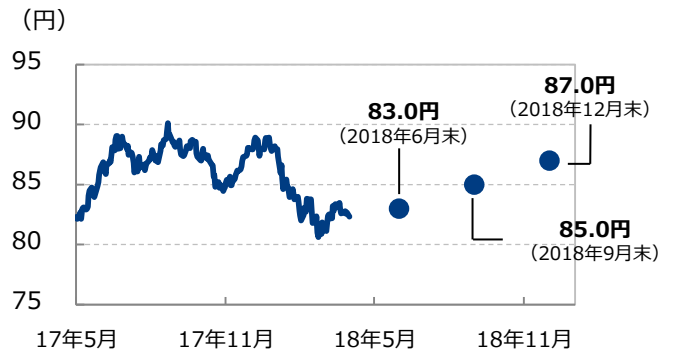
為替市場

米ドル/円：緩やかな上昇



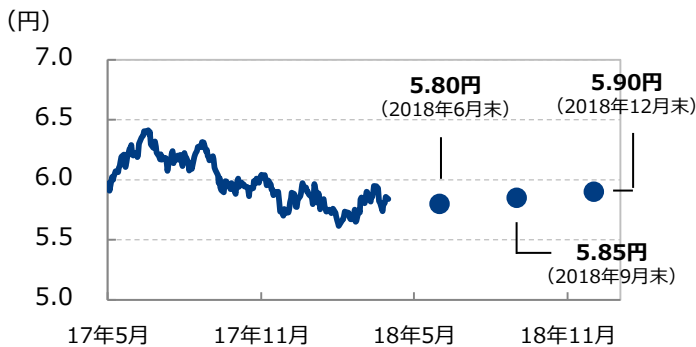
- 米国の好調な景気と、FRBの利上げによる日米金利差拡大に伴い、ドル円は緩やかな円安に向かう見込み。貿易保護主義への懸念などがリスク要因。

豪ドル/円：インフラ投資が下支え要因に



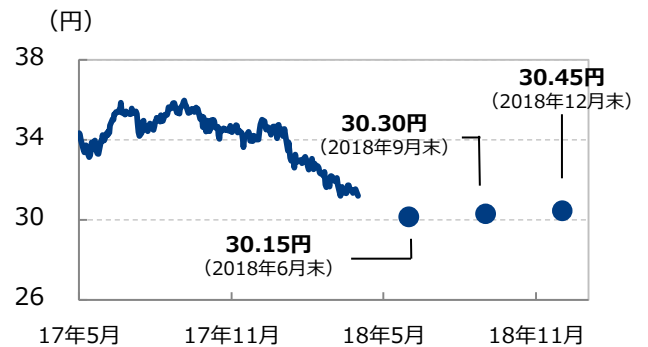
- 第一四半期の賃金上昇率が緩やかに留まり、RBAの政策金利据え置きが長期化する見通しから、上値の重い展開が続く見込み。先行きはインフラ投資が景気を押し上げ、下支えになると予想。

メキシコペソ/円：上値の重い展開に



- 米ドル高・米金利上昇、7月1日メキシコ大統領選などを控え、上値は重くなるとみられる。
- ただし、新興国の中でも金利水準が相対的に高く、相応の買い需要は残るとみられる。

ブラジルリアル/円：上値の重い展開に



- 米ドル高・米金利上昇、ブラジル大統領選の不確実性などから、上値が重い展開となろう。
- ただし、中銀の継続的な利下げによる景気下支え効果はサポート要因。

(2/2)

※2017年5月31日から2018年4月30日までのデータは実績値。2018年6月末、9月末、12月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。